第三章　間島協約ト大正四年日支條約トノ關係ニ關スル係爭問題經緯

大正四年六月八日南滿洲及東部内蒙古ニ關スル日支條約（別紙第一號）締結後同月十八日在間島鈴木總領事代理ヨリ間島協約第三條及第四條ハ右新條約ノ規定ニ依リ當然消滅スヘキモノト解シ差支ヘ無キヤニ付請訓ノ次第アリ本省ニ於テ考究ノ結果之ニ對シ

公平ニ謂ヘハ間島協約ハ特別ノ地方ニ關スル特殊ノ協定ナルヲ以テ其ノ第三條及第四條モ新條約第八條（「滿洲ニ關スル日支現行各條約ハ本條約ニ別ニ規定スルモノヲ除クノ外一切從前通リ實行スヘシ」）ノ結果從前通リ實行セラレ居ルモノト解スルヲ至當トス可キモ新條約ト間島協約トノ關係ニ關スル解釋問題ハ出來得ル

REEL No. 調-0014
0451
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

又[illegible]條約ト間島協約トノ關係ニ關スル問題
[illegible]（一）ノ[illegible]實行セラレ[illegible]
[illegible]約ハ本[illegible]ニ[illegible]件一
モ其ノ第三[illegible]第八條ハ一[illegible]ニ
公平ニ關シテハ[illegible]協約ハ特別ノ地方ニ[illegible]ニ關スル[illegible]ノ規定ナルヲ以
キモニ付[illegible]本省ニ[illegible]結果之ニ[illegible]
特ニ間島協約ハ右[illegible]ノ規定ニ[illegible]當然消滅スヘキモノト[illegible]妥當ナ
議ス[illegible]間十八日在間島[illegible]
大正四年六月八日南滿洲及東部内蒙古ニ關スル日支條約[illegible]
[illegible]
第三章　間島問題ト大正四年日支條約トノ關係ニ關スル

限リ當分明確ニ決定セサルコトト致シ置キ度キ考ナルニ付其ノ積リニテ萬事措置アリ度シ
ト回訓セリ

然ルニ右本省ノ方針ヲ寺内朝鮮總督ニ通報スルヤ同總督ヨリ

(一)若シ間島協約ノ一部カ新條約ニ依リ何等影響ヲ受クル所無シトセハ地域相連續セル江岸一帶支那地方ニ居住シ且其ノ生活狀態ニ於テ全然同一ナル朝鮮人ニ對シ其ノ一部ニハ我治外法權ノ恩典ヲ與ヘ他ノ一部ニハ之ヲ與ヘサルノ變態ヲ生スルコトトナリ之カ爲朝鮮人ニ對スル施政上多大ノ影響ヲ及ホスヘキハ勿論帝國政府カ朝鮮人ヲ内地人同樣帝國臣民トシテ取扱ハントスル根本方針ニモ副ハサルコト

REEL No. 調-0014
0452
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

(二)在支朝鮮人ハ一縣ヨリ他縣ニ移ルニ依リテ彼我異リタル法權ニ服スルノ不便ナルハ勿論相互關係ノ事件ニ付何レノ法權ニ服スヘキヤ假リニ間島内諸縣ト之ト隣接セル諸縣ノ居住鮮人間ニハ相互錯綜スル事件ハ頻出セストスルモ間島ニ於テハ内鮮人雜居スルニ至ルヘキヲ以テ其間ニ於テ訴訟事件ノ起ル機會モ多カルヘク斯ル場合ニ於テ同一國民ニテアリナカラ一方ハ我法權ニ服シ他方ハ支那法權ニ服スルニ於テハ其處理上非常ナル困難ヲ生スヘキコト

(三)我カ政策ニ不滿ヲ抱ケル朝鮮人カ間島ヲ排日運動ノ策源地トスルノ氣勢ヲ一層助長スルニ至ルヘキコト

ヲ理由トシテ間島協約ノ一部ハ新條約ニ依リ當然失效スヘキモノト

REEL No. 調-0014
0453
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

解スルヲ得策ト思考スルニ付再考アリタキ旨ノ意見ヲ具申シ次テ七月鈴木總領事代理ヨリモ右ト同様ノ意見ヲ稟申越シタリ茲ニ於テ政府ハ現地ニ於ケル對朝鮮人施政上両條約ノ關係ニ付テ更ニ愼重詮議ノ結果前記朝鮮總督ノ意見ノ如キ解釋ヲ採ルヲ以テ至當且得策ナリト認メ同年八月十三日ノ閣議ニ於テ次ノ如キ決定ヲ爲シ直ニ其ノ趣旨ヲ關係出先公館ニ敷衍訓令スル所アリタリ（別紙第三號）

政策上及實際上ノ便否ニ顧ミ且新條約ノ明文ニ照ラシ畢竟間島協約第三條及第四條ノ全部並第五條規定ノ大部分ハ之ヲ消滅スヘキモノト看ルヲ以テ帝國ニ取リ有利ニシテ且理論ニ適合スルモノト認メラルルニ付帝國政府ハ此際支那政府ニ對シ特ニ之カ廢棄方ニ關シ通告又ハ商議ヲ須キス日支新條約ト抵觸スル規定ハ當然消滅ニ歸スヘキ

REEL No. 調-0014
0454
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

モノト解釋シ滿蒙ニ關スル新條約實施期日以後ハ在間島朝鮮人ニ對シテモ一律ニ右新條約ヲ適用シ他日支那側ヨリ我官憲ノ處置ニ付抗議ヲ提出スルカ如キ實際問題生シタル場合ニ於テ初メテ説明ヲ與フルコトト致度

其後間島ニ於テ商埠地外ニ居住スル朝鮮人ニ關スル民刑事件ノ審理ニ付日支官憲間ニ抗爭ヲ生シ支那政府ハ九月十日附外交部覺書ヲ以テ在支小幡代理公使ニ對シ

新條約第八條ノ規定ニ依リ間島協約ハ何等影響ヲ受ケサルヲ以テ圖們江北雜居區域內墾地居住ノ韓民ハ依然中國ノ法權ニ服スヘキモノタルニ拘ハラス間島ニ於ケル日本領事ハ近頃遽ニ商埠地外韓人ノ訴訟ヲ受理シ吏員ヲ埠外ニ派遣シテ召喚ヲ行フ趣ナルカ右ハ

REEL No. 調-0014
0455
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

何等カノ誤解ニ出テタルモノト認メラルルニ依リ貴公使ヨリ該領事ニ轉飭シ從前通リ辨理セシメラレ度キ旨ノ抗議ヲ提出セリ

依テ我方ヨリハ同代理公使ヲシテ九月十八日外交部ニ對シ支那側ハ新條約第八條ノ規定ヲ根據トシテ間島協約ハ新條約ニ依リ何等影響ヲ受ケサルコトヲ主張スルモ我方ニ於テハ同條ノ規定ヲ以テ反對ニ間島協約ノ一部カ其ノ影響ヲ受クヘキモノタルノ根據ト爲サムトス蓋シ同條ニハ滿洲ニ關スル日支現行各條約ハ本條約ニ別ニ規定スルモノヲ除クノ外一切從前通リ實行スヘシトアリテ其ノ反面ヨリ謂ヘハ若シ新條約ニ別ニ規定スルモノアラハ之ト同一事項ニ關スル他ノ條約中ノ規定ハ從前通リ實行セラレス新條

REEL No. 調-0014
0456
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

約ノ規定カ之ニ代ハルヘキモノナリ卽チ間島協約中第四條ノ規定ノ如キハ新條約ノ實施ト共ニ當然其ノ效力ヲ失フヘキモノタリ然ラハ在間島帝國領事カ新條約ノ實施ト共ニ圖們江北地方雜居區域內墾地ニ居住スル帝國臣民タル朝鮮人ノ訴訟ヲ受理シ又吏員ヲ派遣シテ之カ召喚ヲ行フニ至レルハ素ヨリ當然ニシテ帝國政府ニ於テハ本件ニ關シ遺憾ナカラ支那政府ノ希望ニ副フ能ハス

トノ旨ヲ以テ反駁セシムル所アリタリ

外交部ハ右ニ對シ九月二十五日附覺書ヲ以テ更ニ大要次ノ如ク抗議シ來レリ

本部ノ見ル所ニテハ間島協約ト新條約トハ何等衝突スル所無シ其ノ理由三アリ

REEL No. 調-0014
0457
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

(一)間島協約ハ東三省五案件ニ關スル取極ト交換的意味ニ於テ締結セラレタルモノニシテ即チ支那ニ於テ鐵道鑛山ニ關シ多クノ讓歩ヲ爲セルニ對シ日本ニ於テハ間島カ支那ノ領土ニ屬スルコト及開墾居住ノ朝鮮人カ支那ノ法權ニ服スルコトヲ承認シタルモノナリ然ルニ今復朝鮮人管轄權ヲ要求スルカ如キハ締結當時ノ本旨ニ反ス

(二)間島雜居區域內ノ朝鮮人ハ日韓併合後日本國臣民タルモ他ノ日本人トハ異リ特殊ノ權利ヲ享有シ又特殊ノ義務ヲ負フモノナリ即チ日本國臣民ハ南滿ニ在リテ僅カニ土地ヲ商租シ得ルニ過キサルニ朝鮮人ハ間島雜居區域內ニ在リテハ土地ヲ所有シ得ルヲ以テ朝鮮人カ他ノ日本人ト異リ支那ノ法權ニ服スト解シテモ何

REEL No. 調-0014
0458
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

等不當ナル所ナシ

(三)新條約第五條第一項ニ依ルニ「日本國臣民ハ例規ニヨリ下附セラレタル旅券ヲ地方官ニ提出シ登錄ヲ受ケ」云々トアリテ新條約ノ及フ所ノ日本國臣民ハ旅券ヲ下附セラルル人タルヲ見ルニ足ルヘク然ルニ間島協約ノ規定ニ依ル朝鮮人ハ未タ曾テ旅券ノ下附ヲ受ケス兩者ハ判然混淆ヲ許ササルモノナリ

之ヲ要スルニ新條約ニハ朝鮮人ニ關シ何等特別ノ規定無キヲ以テ新條約第八條ノ規定ニ依リ間島協約ハ新條約ニ依リ何等變更ヲ受ケサルモノト解セサル可ラス

此間ニ於テ間島ニ於テハ支那官憲カ朝鮮人ニ對シ說諭威嚇等有ラユル方法ヲ以テ實際上我法權ノ排除ニ努ムルノ情勢アリタルヲ以テ帝

REEL No. 調-0014
0459
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

國政府ハ在支代理公使ニ對シ若シ支那側ニシテ右ノ如キ態度ニ出ツルニ於テハ我方ニ於テモ已ムヲ得サルヲ以テ實力ニ訴ヘテモ我條約上ノ權利ヲ防護スルノ手段ヲ執リ之ニ對抗セサル可ラサル旨嚴重支那側ニ申入方訓令スル所アリ同代理公使ハ直チニ曹外交次長ニ面會シテ警告シタルモ先方ハ容易ニ之ヲ首肯セス却テ前記支那側第二回抗議ニ對スル日本政府ノ回答ヲ促ス所アリタリ

茲ニ於テ帝國政府ハ在支代理公使ヲシテ

支那側ニ於テハ新條約ト間島協約トハ何等衝突スル所無シトスル理由トシテ三點ヲ擧ケ居ル處

(一)第一ニ假リニ間島協約ニ規定セル朝鮮人ニ對スル支那ノ管轄權ハ當時ノ案件タリシ鑛山鐵道問題等ノ讓歩ニ對スル我對價ナリ

REEL No. 調-0014
0460
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

トスルモ右ノ事實ハ毫モ間島協約ヲ以テ新條約第八條規定ノ適用外ナリトスル理由トナラス事實上新條約ニモ間島協約ニモ裁判管轄權ニ關スル規定アリ而シテ間島協約カ新條約第八條ニ所謂滿洲ニ關スル日支現行各條約ノ一タルニ於テハ同條ノ規定ニ依リ舊條約カ影響ヲ受クヘシト爲スハ當然ナリ且實際論トシテモ假リニ支那ノ所謂利益交換ノ見地ヨリ觀ルモ支那ノ所謂鐵道鑛山ニ對スル報償トシテ帝國カ讓歩セル所ノモノハ間島地方ノ領土權ソノモノナリ然ルニ領土權讓歩ノ結果トシテ當時事實上同地方ニ居住往來セル多數ノ朝鮮人ハ忽チ同地方ヨリ退去セサルヘカラサルコトトナルヘキヲ以テ已ムヲ得サル便法トシテ支那ニ於テハ右等朝鮮人ニ居住其他ノ權利ヲ承認シ我ハ更ニ之カ

REEL No. 調-0014
0461
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

對償トシテ一定ノ條件ノ下ニ朝鮮人ニ對スル支那國法權ノ行使ヲ認ムルコトト爲シタルモノナリ然ルニ今ヤ新條約ニ依リ朝鮮人ト雖均シク同地方ニ居住來往スルヲ得ルニ至レリ然ラハ假令支那側ノ謂フカ如ク利益交換ノ見地ヨリスルモ今ニ於テ支那政府カ依然朝鮮人ニ對シ裁判權ヲ行ハムトスルハ對價無クシテ特別ノ權利ヲ保持セムトスルモノト云フヘキナリ

(二)支那側ハ第二ノ主張ニ於テ朝鮮人ハ他ノ日本國臣民ト異レル特別ノ權利義務ヲ有スル旨ヲ陳ヘ居レルモ右ハ新條約ノ結果間島協約カ改廢セラルルト否トノ問題トハ直接關係無シ抑モ新條約第二條第三條及第五條ノ如キハ其ノ規定ニ照ラシ南滿洲全部及日本臣民全部ニ適用セラルヘキモノナルコト明白ニシテ從テ間

REEL No. 調-0014
0462
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

島雜居地內ニ在ル朝鮮人ニモ適用アルヘキハ謂フ迄モ無ク而シテ間島協約中ニハ右新條約ノ規定ト同一事項ニ關スル規定アルヲ以テ新條約第八條ノ規定ニ基キ間島協約中ノ是等ノ規定ハ當然失效スヘキモノナリ而シテ支那側覺書中ニ指摘セル土地ニ關スル權利ノ如キハ我當初ノ提案ニ依レハ南滿洲一帶ニ於テ所有權ヲ認メムコトヲ希望シタルモ妥協ノ精神ニ基キ特ニ商租權ト爲シタル迄ニシテ素ヨリ爲メニ間島ナル地域ヲ區別セムトスル趣旨アリタルニ非ス從テ間島協約第五條ノ韓民所有ノ土地云々ノ如キ規定ノ如キモ裁判ニ關スル規定同樣新條約ノ規定ニ依ルヘキハ帝國政府ニ於テモ異論ヲ挾マサル所ナリ

(三) 支那側第三ノ主張タル新條約第五條第一項旅劵ノ規定ハ單ニ旅

REEL No. 調-0014
0463
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

券下附ノ手續形式ヲ定メタルニ過キスシテ第二項ノ適用ヲ受クヘキ日本臣民ノ範圍ヲ限定セムトスル趣旨ニ非ス殊ニ旅券下附ノ件ノ如キモ帝國政府ニ於テハ日本國臣民ヲシテ之カ提出登錄ノ義務ヲ負擔セシムルハ其ノ欲セサル所ナリシモ之亦特ニ互讓ノ精神ニ基キテ支那側ノ希望ヲ容レタル迄ニシテ之ヲ以テ間島在留朝鮮人ト他ノ日本國臣民トヲ區別セムトスル趣旨ニ非サルナリ

以上述ヘタル所ニ依リ帝國政府ハ前回ノ覺書ニテ申述ヘタル通リ間島協約中ノ規定事項ノ或ルモノハ新條約ニ於テ別ニ規定スルモノアルカ故ニ第八條ニ依リ其ノ效力ヲ失フヘシトノ主張ヲ改ムル能ハス

REEL No. 調-0014
0464
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

トノ趣旨ノ回答ヲ爲サシムルト同時ニ右回答文提出ニ際シ懇談トシテ本問題ハ理論上ヨリ見ルモ支那側ノ主張ハ如何ニモ不徹底ナル處假リニ議論ヲ離レ實際上ノ便否及政策上等ノ立場ヨリ見テモ帝國ハ是非トモ間島在留朝鮮人ヲ其ノ法權ノ下ニ置カサル可ラサル理由アルヲ以テ其ノ爲メニハ如何ナル手段ニ訴フルモ敢テ辭スル所ニアラス斯クテハ或ハ容易ナラサル事態ニ立到ルヤモ計ラレサルカ故ニ此上ノ議論ハ中止シ大局ニ顧ミ速ニ我方ノ主張ヲ認容セムコト希望ニ堪ヘサル旨併セテ申入レシムルコトトセリ

依テ小幡代理公使ハ十一月九日右訓令ニ基キテ作成セル覺書ヲ外交部ニ送附スルト共ニ同十五日曹外交次長ヲ訪問シ懇切ニ我方ノ主張ヲ申入レタル處同次長ハ支那政府ニ在リテモ充分誠實ナル研究ヲ遂

クヘキモ兎モ角新條約實施後間島ニ入レル朝鮮人ニハ新條約ヲ適用シ從來ヨリ間島ニ在留スル朝鮮人ニ付テハ何等適當ナル辨法ヲ案出シ度キ考ニテ目下講究中ナル旨答ヘタリ而シテ同次長ノ所謂辨法ナルモノハ北京ニ於ケル本件交渉ト殆ント同時ニ延吉道尹ヨリ在間島鈴木總領事代理ニ提起セラレタル辨法卽チ(一)間島在留朝鮮人ニシテ西曆千九百十三年（大正二年）迄ニ支那ノ國籍ヲ取得シ居ル者ニ對シテハ日本政府ニ於テ其ノ歸化ヲ認許スルコト(二)新條約實施ノ際間島ニ在住シタル朝鮮人ニシテ將來支那ニ歸化セムトスル者アルトキハ日本政府ハ之ヲ認許スルコトノ二條件ヲ承諾スルニ於テハ支那政府ハ新條約ニ因ル間島協約一部失效ヲ認ムヘシトノ提案ト同一趣旨ナルコト判明シタルヲ以テ小幡代理公使ハ(一)朝鮮ニハ未タ國籍法ノ

REEL No. 調-0014
0466
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

適用無キコト及(二)朝鮮人ヲ我法權ノ下ニ置クヘキ政策上ノ必要アルコトノ二理由ニ依リ斯カル辨法ニハ到底同意シ難キ旨ヲ以テ拒絶セリ

其後支那側ニ於テハ理論上ノ抗爭ヲ反覆スルハ無益ナルヲ以テ事實上間島在留朝鮮人ヲ其ノ法權下ニ置カムトスルノ方針ヲ執ルニ決シタルモノノ如ク或ハ我領事館ニ出訴セムトスル者ニ對シテ妨害ヲ加ヘ或ハ種々ノ手段ヲ以テ其ノ歸化ヲ勸誘シ或ハ其ノ教育ニ干渉スル等百方劃策スル所アリ若シ其儘事態ヲ推移セシムルニ於テハ重大ナル結果ヲ來スヘキ虞アリタルニ由リ大正五年四月帝國政府ハ在支日置公使ニ訓令シ支那政府ニ對シ

新條約實施以後ハ在間島朝鮮人ハ最早支那ノ法權ニ服スヘキモノ

REEL No. 調-0014
0467
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ニ非ストスル我主張ニ關シテハ支那側ヨリ抗議アリシ毎ニ一々委曲ヲ盡シテ說明スル所アリ殊ニ最後ニ客年十一月十五日小幡代理公使ト曹外交次長トノ會見以來ハ帝國政府ニ於テハ其際同次長陳述ノ次第ト其後支那側ヨリ何等申出無キ事實トニ顧ミ支那側ニ於テハ內實我主張ノ正當ナルヲ認容セルモノト了解シ居タルニ不拘他面間島地方官憲ニ於テハ相變ラス我ニ反對ノ態度ヲ固執シ居ル趣ナルカ察スルニ支那政府ハ正面ノ論爭ヲ避ケ間島ニ於ケル我領事館員等ノ手薄ナルニ乘シ事實上ノ施設ニ依リ我カ條約上ノ權利ヲ阻害セムトスルモノニ非サルナキカ果シテ然ラハ我亦相當ノ手段ヲ講セサル可ラサルヘク斯クテハ間島ニ於テ如何ナル混亂ヲ見ルニ至ルヤモ計リ難キニ付屢々申述ヘタル通支那政府ニ於テ從來

REEL No. 調-0014

0466

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ノ行掛ヲ捨テ帝國政府ノ主張ヲ容レ間島地方官憲ニ對シ帝國ノ法權執行ヲ妨クルカ如キコト無キ樣速ニ訓令アリ度

トノ趣旨ヲ申入レシムル所アリタリ

爾來日支双方ノ間ニ再ヒ公然ノ論爭ヲ爲スコト無カリシモ支那側ハ裏面ニ於テ依然トシテ其ノ態度ヲ改メス事實上ニ於テ朝鮮人ニ對スル其ノ法權ヲ維持スルニ腐心シテ今日ニ至レリ

REEL No. 調-0014

0463

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

別紙第一號

南滿洲及東部內蒙古ニ關スル條約

（大正四年五月二十五日調印）

第一條　兩締約國ハ旅順、大連ノ租借期限並南滿洲鐵道安奉鐵道ニ關スル期限ヲ何レモ九十九箇年ニ延長スヘキコトヲ約ス

第二條　日本國臣民ハ南滿洲ニ於テ各種商工業上ノ建物ヲ建設スル爲又ハ農業ヲ經營スル爲必要ナル土地ヲ商租スルコトヲ得

第三條　日本國臣民ハ南滿洲ニ於テ自由ニ居住往來シ各種ノ商工業其他ノ業務ニ從事スルコトヲ得

第四條　日本國臣民カ東部內蒙古ニ於テ支那國國民ト合辦ニ依リ農業及附隨工業ノ經營ヲ爲サムトスルトキハ支那國政府之ヲ承認スヘシ

REEL No. 調-0014
0470
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第五條　前三條ノ場合ニ於テ日本國臣民ハ例規ニ依リ下附セラレタル旅券ヲ地方官ニ提出シ登錄ヲ受ケ又支那國警察法令及課稅ニ服スヘシ

民刑訴訟ハ日本國臣民被告タル場合ニハ日本國領事官ニ於テ又支那國國民被告タル場合ニハ支那國官吏ニ於テ之ヲ審判シ互ニ員ヲ派シ臨席傍聽セシムルコトヲ得但シ土地ニ關スル日本國臣民及支那國國民間ノ民事訴訟ハ支那國ノ法律及地方慣習ニ依リ兩國ヨリ員ヲ派シ共同審判スヘシ將來同地方ノ司法制度完全ニ改良セラルルトキハ日本國臣民ニ關スル一切ノ民刑訴訟ハ完全ニ支那國法廷ノ審判ニ歸スヘシ

第六條　支那國政府ハ成ルヘク速ニ外國人ノ居住貿易ノ爲自ラ進ミ

REEL No. 調-0014
0471
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

テ東部內蒙古ニ於ケル適當ナル諸都市ヲ開放スヘキコトヲ約ス

第七條　支那國政府ハ從來支那國ト各外國資本家トノ間ニ締結シタル鐵道借款契約規定事項ヲ標準ト爲シ速ニ吉長鐵道ニ關スル諸協約並契約ノ根本的改訂ヲ行フヘキコトヲ約ス

將來支那國政府ニ於テ鐵道借款事項ニ關シ外國資本家ニ對シ現在ノ各鐵道借款契約ニ比シ有利ナル條件ヲ附與シタルトキハ日本國ノ希望ニヨリ更ニ前記吉長鐵道借款契約ノ改訂ヲ行フヘシ

第八條　滿洲ニ關スル日支現行各條約ハ本條約ニ別ニ規定スルモノヲ除クノ外一切從前通リ實行スヘシ

第九條　本條約ハ調印ノ日ヨリ效力ヲ生ス

本條約ハ日本國皇帝陛下及支那共和國大統領閣下ニ於テ批准セラ

REEL No. 調-0014
0472
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ルヘク其ノ批准書ハ成ルヘク速ニ東京ニ於テ交換セラルヘシ

REEL No. 調-0014
0473
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

別紙第二號

大正四年日支新條約ト間島協約トノ關係ニ關スル解釋ニ付在間島總領事ニ對スル訓令

（大正四年八月十四日）

間島在留朝鮮人ニ對シ滿蒙ニ關スル日支新條約適用ニ關スル件

（前略）新條約第八條ニ所謂滿洲ニ關スル日支現行各條約トハ特種協約タルト否トニ拘ハラス總テ之ニ包含セラルルモノニシテ間島協約ノ如キモ其ノ一ナリト見ルヲ以テ穩當ト致スヘク而シテ同協約ノ規定事項中ニハ新條約ニ別ニ規定スルモノアルニ依リ是等事項ニ關スル限リ間島協約中ノ規定即チ同第三條及第四條ノ全部並第五條ノ大部分ハ廢滅ニ歸シ滿蒙ニ關スル新條約ノ規定カ之ニ代ハリタルモ

REEL No. 調-0014
0474
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ノト爲スヲ以テ正當ノ解釋ト認メ候ニ付（中略）新條約實施期日以後ハ同條約第五條ノ規定通リ原則トシテ朝鮮人ヲ被告トスル民刑訴訟事件ハ帝國領事官ニ於テ之ヲ審判スルコトニ決定致候

尤モ前記解釋ノ結果間島在留朝鮮人ニ對シ總テ新條約ヲ適用スルコトト爲スニ於テハ間島協約施行ノ當時取得シタル土地等ニ關スル既得ノ權利ハ別トシテ或ハ從來新ニ間島ニ來住營業セムトスル朝鮮人ニ對シテモ旅券ノ所持ヲ求メ土地ニ付テハ商租タルヲ主張シ（中略）、、、スルニ至ルヤモ計ラレス候處右ハ理論上ハ無已次第ニ有之候へ共支那側ノ請求アル迄ハ貴官ニ於テ是等ノ事項ニ關シ我方ヨリ進ンテ手續ヲ執ラルル必要無之云々（後略）

REEL No. 調-0014
0475
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第四章　間琿ニ於ケル我警察機關ノ沿革

明治四十二年間島協約成立ニ伴ヒ龍井村、局子街、頭道溝及百草溝ノ四地開放セラレ龍井村ニ總領事館爾餘ノ三箇所ニ分館ヲ開設スルコトトナリタル結果同年十一月龍井村ニ於ケル統監府臨時間島派出所ヲ閉鎖シテ新ニ總領事館ヲ開設シ同時ニ局子街及頭道溝ノ分館開設セラレ翌年三月百草溝分館モ事務ヲ開始スルニ至リ而シテ是等本館及分館ニハ合計約三十名ノ警察官ヲ配置セリ又琿春ニ關シテハ間島協約ニ於テ何等ノ規定ヲ見サリシカ從來同地ニ入リ込ミ居リタル邦人ニハ無頼無恥ノ徒多カリシ爲之カ取締ノ必要アリタルト同地邦人ノ貿易發展上保護機關ノ設置ノ急務ナリシニ鑑ミ在間島總領事館分館ヲ開設スルコトトナリ明治四十三年四月支那政府ノ承諾ヲ得總

REEL No. 調-0014
0476
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/